

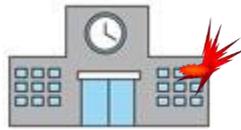
緊急時の対応の基本



地震時の対応

初期対応

- 身体 of 安全を図る
- 火の始末
- 避難路の確保状況により
仕事・講義・会議を中止する



緊急対応

- 負傷者救助
- 火災
- 状況を職員に連絡（必要により応援要請）

避難、安否確認

- 避難場所に移動 1階
- 安否確認（職員）
- 状況を防災責任者に報告

火災時の対応

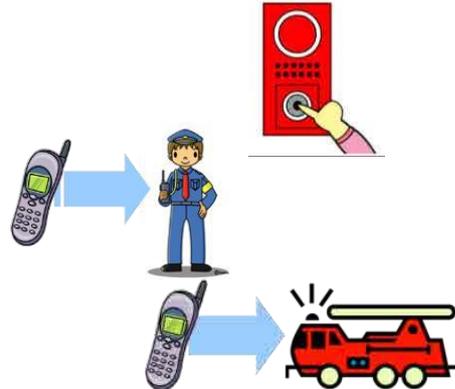
初期対応

- 身体の安全を図る
- 大声で周辺の人に知らせる 1人で対応しない



通報

- 火災報知器のボタンを押す（ベルが鳴り、消防に通報されます）
- または、消防署（外線119）へ通報



初期消火（可能なら）

- 初期消火を実施（腰の高さまで）
- 避難（できるだけ危険の少ない経路を使用）



負傷者への対応

初期対応

- 周囲に知らせ、応援を呼ぶ
- 可能な範囲で応急処置（無理をしないこと）



緊急対応

- 救急受付に電話し、病院へ急行
 - ・病院（最寄の病院：）
木村クリニック 052-332-0011
- 必要があれば、救急車を呼ぶ（119）

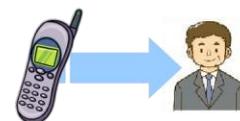


救急車誘導のため1階で対応



事故報告

- 防災責任者に連絡
- 事故災害報告書を提出



避難場所、安全カード

地震が生じた際には、まず、の一次避難場所に集合してください。研究室や職場単位で、点呼や安否確認を行い、必要に応じて最終避難場所へ移動します。



【最終避難場所】 鶴舞公園 (ZERO から 3 3 0 m)

<安全カード>

避難の際に「安全カード」を持参し、安否確認等にご活用ください。

安全カードには、あらかじめ必要事項を記入し、常に携帯するよう心掛けてください。

LIFEカード (障害福祉サービス事業所ZERO)				LIFEカード (障害福祉サービス事業所ZERO)			
名 前		救 急		役 所		<服薬>	
生年月日		ZERO	052-332-5775	相 談			
住 所		か か り っ け	病 院 名				
電話番号			電 話 番 号				
障害名			病 院 名				
血液型			電 話 番 号				
緊 急 連 絡 先							
名 称	電 話 番 号	詳 細		<助けてもらう時のお願い>			
				(例) 杖がないと歩けません			
				(例2) 一人では歩けません			
				(例3) ○○の保健師・役所・病院まで同行をお願いします。			

あなたの行動で救える命があります

心肺蘇生法の手順



1 意識の確認

肩をたたいて

意識の確認

119番を!!
AEDを!

2 助けを呼ぶ

3 呼吸の確認

胸と腹部の動きを見て、
呼吸の確認をします（10秒以内）

※気道の確保は、市民は不要、
気道従事者のみ。



4

呼吸がなければ、
2回の人工呼吸
※空気が逃げないように、
鼻をつまみましょう

5 30回の胸骨圧迫

胸が4～5cm沈む程度の強さで、
1分間に約100回のテンポで押します



6 AEDで電気ショック

※電極貼から離れましょう



1. 意識の確認

『大丈夫ですか』など、3回呼びかける
肩（鎖骨のあたり）を叩き、痛み刺激を行う

2. 救急車、AEDの依頼

大きな声で応援を呼び、周りの人に『119番をお願いします』
『AEDを持ってきて下さい』と依頼する

3. 気道確保、呼吸の確認

頭部後屈—あご先拳上を行い、気道確保を行う
傷病者の口と鼻に耳を近づけ、呼吸の確認を行う

<呼吸の確認>

- ①胸部の上下運動を『見る』
- ②呼吸があるのか音で『聞く』
- ③頬で息を『感じる』

4. 2回の人工呼吸(省略可能)

気道確保を行い、鼻をつまんでゆっくりと1秒かけて
息を吹き込む

5. 胸骨圧迫、人工呼吸

- ①服を脱がせ、乳頭と乳頭の間を手を置く
- ②1分間に100回のリズムで30回胸骨圧迫を行う
(4～5cmの深さで圧迫)
- ③気道を確保し、ゆっくりと2回人工呼吸を行う
(1回に1秒)
- ④30回の胸骨圧迫と2回の人工呼吸を5セット行う
(約2分間)

6. AEDが到着したい、AEDを使用

- ①ふたを開ける(電源を入れる)
- ②電極を貼る(右の鎖骨の下と左の脇腹)
- ③電気ショックが必要な場合は、放電ボタンを押す

廊下や階段などでの転倒に注意

特に梅雨の季節は、廊下や階段が濡れて滑りやすいことが多くなりますので、

下記のポイントに注意して転倒によるけがの防止に努めてください。

靴について

- ・ 靴は滑りにくく、また脱げにくい物を使用してください。
- ・ 特に、雨天時には革靴・ヒール等は避け雨天用長靴を推奨します。

階段の昇降について

- ・ 会談の昇降時には、足元に注意してください。特に荷物を持っているときには確実に足元を確認してください。
- ・ 特に階段を下りる時には、走ったり段を飛ばしたりしないでください。また、携帯や話しながらも避けてください。
- ・ できるだけ手すりを持って昇降してください。

滑りやすさへの注意について

- ・ 普段から階段等が濡れていないか、滑りやすくないかに注意してください。
- ・ 雨天時、建物内に傘などを持ち込む時は、十分に水滴を落としてから持ち込んでください。
- ・ 階段が濡れている場合は、除去・掃除をしてください。

事故が起きたら

まわりの者のすべきこと	連絡先	電話番号	内容
けが / Injury			
1 人を呼べ	①病院 (木村クリニック)	052-332-0011	障害福祉サービス事業所ZEROの ____が____を負傷したので連れていく。
2 応急処置をせよ 出血：手拭でしぼる 気絶：人工呼吸を施す	②消防署 (救急車を呼ぶ場合)	外線 119	障害福祉サービス事業所ZERO __階で負傷者が出たので救急車を頼む。 住所は中区千代田3-27-18 私は____です。
3 右の連絡をせよ	③事務部	内線 40	障害福祉サービス事業所ZERO __階で負傷者が出た。 救急車を頼んだので案内を頼む。
4 軽傷ならば けが人を木村クリニック へ連れていく			
火災 / Fire			
1 人を呼べ	①消防署 (鎮火しても、現場確認 をお願いする)	外線 119	障害福祉サービス事業所ZERO __階で火災が起こったので消防車を頼む。 住所は中区千代田3-27-18です。 私は____です。
2 右の連絡をせよ (落ち着いて深呼吸)	②事務部	内線 40	障害福祉サービス事業所ZERO __階で火災が起こった。消防車が来るので案内を頼む。
3 可能なら消火に務めよ 大きな火災なら逃げよ			